



「歩く県道・銀山街道」

地域づくりニュース H26 Vol.1

会津若松建設事務所では、県道で交通不能となっている区間（かつての旧街道）について、「歩く県道」として整備・利活用し、地域の活性化に繋げるための取り組みを実施しています。

旧街道の一つである銀山街道は、会津若松市大町札の辻を起点として只見町小林に至る延長約 72 km の道で、軽井沢銀山が栄えていた頃は銀を運搬する人達の往来で賑わい、江戸時代には巡見使が通った歴史街道でもあります。その街道を利活用するために、街道修繕の実証実験を通して検討会を開催し、地域住民と関係自治体が一緒になって、今後の地域づくりについて考えていきます。

第 1 回地域づくり検討会の開催概要

平成 26 年 7 月 14 日(月)13 時 30 分～16 時 15 分 三島町町民センターにて

●参加者●

銀山街道を復活させる会、峠道の利活用を考える会、「あなたの永遠の故郷づくり」を推進するみんなの会、銀山街道を活用して地域を元気にする会、わくわく奥会津ドットコム、東北芸術工科大学の学生・教員、田賀意匠事務所、会津森林管理署、会津農林事務所、柳津町・三島町・昭和村役場、福島県等 合計 23 名

●話し合われたこと●

現地調査の結果を元に、昨年度まで整備した箇所について検証を行い、今年度の整備箇所と整備方法、道普請のスケジュールについて確認を行いました。



現地調査の結果報告

検討会開催前に、銀山峠、美女峠、吉尾峠の 3 峠について現地調査を行いました。銀山峠・美女峠については、昨年度までに施工した丸太土留工・木橋等についての経年変化や、山側側溝・横断側溝を施工したことによる路面のぬかるみの改善状況について確認を行うとともに、今後新たな対策が必要と思われる箇所について調査しました。

吉尾峠は今年度から道普請を行う予定となっているため、整備が必要な箇所について確認を行いました。

吉尾峠（現地調査日：平成 26 年 5 月 20 日）



沢を渡る箇所が多いため、安全に歩けるように整備が必要。

美女峠（現地調査日：平成 26 年 5 月 15 日）

山側側溝を掘削し木橋を施工



排水性が向上しぬかるみの状態が改善！木橋の施工で沢が渡りやすくなりました。

道路中央の木の根を除去



障害物がなくなり、歩きやすくなりました。

銀山峠（現地調査日：平成 26 年 5 月 21 日）

山側側溝・横断側溝を整備し、横断側溝の上に栈橋を施工



ぬかるみの状態が改善され、栈橋施工により安全に歩けるようになりました。

道幅を広げ丸太土留工を施工



丸太土留工で谷側の路肩がしっかりと保護され、道幅が確保されていました。

道普請で整備した箇所は、ぬかるみの状態が改善されており、施工した構造物も安定した状態にありました。安全で歩きやすい道を維持するために今後も経過観察を行い、必要に応じて補修作業を行うこととなりました。ウォーキング大会の参加者からも「歩きやすくなった」と好評でした。

道普請実施予定箇所と施工方法の確認

現地調査の結果を元に、今年度以降道普請を行う箇所を決定し、施工方法について検討を行いました。

銀山峠について

- ◆ 軽井沢側から峠に向かう所で、現道がなく山の斜面を歩かなければならない箇所について、山側斜面を掘削して人が歩ける道幅を 1.0～1.2m程度確保し、整地して歩きやすくする。
- ◆ 施工箇所周辺に里山の植物の群落があるため、植物の生態系を意識した施工ができると良い。自然を保全しながら活用できる道にするには、保全の程度について共通の認識を持つ必要がある。
- ◆ 現在は山の斜面を迂回して歩いているが、新たな道として最短で歩きやすい箇所を階段状に整備する方法を検討するのも良い。

現道がなく山の斜面を歩く箇所（銀山峠）



路面がぬかるんでいる箇所（美女峠）



丸木橋が折れている箇所（吉尾峠）



沢道を歩く箇所（吉尾峠）



美女峠について

- ◆ 三島町と昭和村の町村界周辺のぬかるみがひどい箇所(4箇所)について、山側側溝と横断側溝を施工し、山から流れてくる水や路面水を谷に流して水はけを良くすることで、ぬかるみの改善を図る。
- ◆ 横断側溝の幅を 1.4m程度と広めに施工し、流速を抑えて下方浸食を防ぐ。
- ◆ ぬかるみの延長が長い箇所については、水の吐け口となる横断側溝を複数設けることで、排水効果を高める。

吉尾峠について

- ◆ 昭和側の入口近くの丸木橋が折れている箇所に沢止工を施工し、安全に歩けるようにする。より安定した状態を保つために、柳枝工を行うことについても検討する。
- ◆ 沢道を歩く箇所については、施工箇所周辺にある石を水の勢いに対抗できるように平面アーチ状に設置し、さらにその周辺にも石を敷きつめて歩けるようにする。
- ◆ 石敷工は、魚や水生昆虫等が移動可能なように敷設高を水面からマイナス 10 cm程度とするが、いくつかの石を水面の上に出し、その上を歩いて沢を渡ることもできるようにする。

今年度のスケジュールについて

道普請実施予定日

美女峠：平成 26 年 9 月 9 日（火）

吉尾峠：平成 26 年 9 月 19 日（金）

銀山峠：平成 26 年 9 月 29 日（月）

交通不能区となっている 3 峠を「歩く県道」として整備するための道普請を 9 月に実施する予定です。

重機が入れない場所であるため、掘削や杭の打設、石材の運搬等、作業はすべて人力で行います。多くの人に参加をして頂き、地域資源として活用できる道にしていきたいと思いますので、御協力をお願いします。

今年度第 1 回の検討会は、会津森林管理署や会津農林事務所からも出席していただき、街道整備や地域づくりを行っていく上での連携に広がりを持つことができました。

道普請終了後に第 2 回検討会を開催し、道普請の検証や銀山街道を活用した地域づくりについて話し合いを行う予定です。多くの方から御意見を頂き、より広い視点で今後の地域づくりを進めていきたいと思っています。

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459